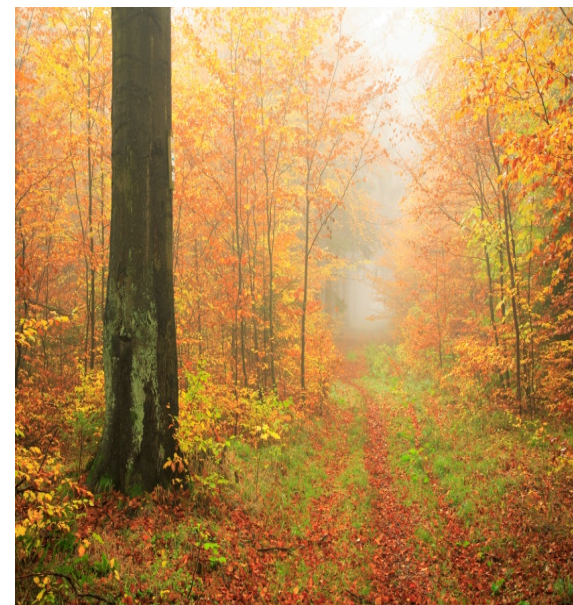


インマヌエル中目黒キリスト教会  
2011年11月6日  
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講24・終講  
「どうか、私を覚えて」  
ネヘミヤ記13章23-31節  
竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

ネヘミヤ記 13章 23-31節

23 そのころまた、

私はアシュドデ人、アモン人、  
モアブ人の女をめぐっている  
ユダヤ人たちのいるのに  
気がついた。

24 彼らの子どもの半分は

アシュドデのことばを話し、  
あるいは、それぞれ他の国語を  
話して、ユダヤのことばが  
わからなかった。

25 そこで、

私は彼らを詰問してのろい、  
そのうちの数人を打ち、  
その毛を引き抜き、  
彼らを神にかけて誓わせて  
言った。

「あなたがたの娘を彼らの息子にとつがせてはならない。  
また、あなたがたの息子、  
あるいは、あなたがた自身が、  
彼らの娘をめとってはならない。」

26 イスラエルの王ソロモンは、  
このことによって罪を犯したで  
はないか。  
多くの国々のうちで彼のような  
王はいなかった。  
彼は神に愛され、  
神は彼をイスラエル全土を  
治める王としたのに、  
外国の女たちが彼に罪を  
犯させてしまった。

27 だから、  
あなたがたが外国の女を  
めとって、  
私たちの神に対して不信の罪を  
犯し、  
このような大きな悪を行って  
いることを聞き流しに  
できようか。」

28 大祭司エルヤシブの子エホヤダ  
の子のひとは、  
ホロン人サヌバラテの婿で  
あった。  
それで、私は彼を私のところ  
から追い出した。



**29 私の神。**

**どうか彼らのことを思い出して  
ください。**

**彼らは祭司職を汚し、  
祭司やレビ人たちの契約を  
汚したからです。**

**30 私はすべての異教的なものから  
彼らをきよめ、  
祭司とレビ人のそれぞれの  
務めの規程を定め、**

**31 定まった時に行う  
たきぎのささげ物と、  
初物についての規程も定めた。  
私の神。  
どうか私を覚えて、  
いつくしんでください。**

# 説教

ネヘミヤ記連講24・終講

「どうか、私を覚えて」

ネヘミヤ記13章23-31節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「私の神。  
どうか私を覚えて、  
いつくしんでください。」

(ネヘミヤ 13 : 31)

# 1 . 「安息日を聖く保つ」改革 ( 1 3 章前半 = 復習 )

- ・ ネヘミヤの帰国と問題の発見

神殿が不信仰者に使われていた  
( 1 - 5 節 )

レビ人に給与が払われて  
いなかった  
( 6 - 1 4 節 )

安息日が破られていた

( 1 5 - 2 2 節 )

祭司たちも異邦人と

結婚していた

( 2 3 - 3 1 節 )

- ( 神を覚えて祈る ) 安息日遵守  
の戦い

## 2 . 外国人との結婚の事実

( 2 3 - 2 4 節)

( 地図参照 )

- 一般人の間で：  
アシュドデ人、アモン人、  
モアブ人と結婚している人々
- 大祭司がサヌバラテと親戚！

# 【ネヘミヤ時代のユダ】

サマリヤ

アモン

アラビヤ

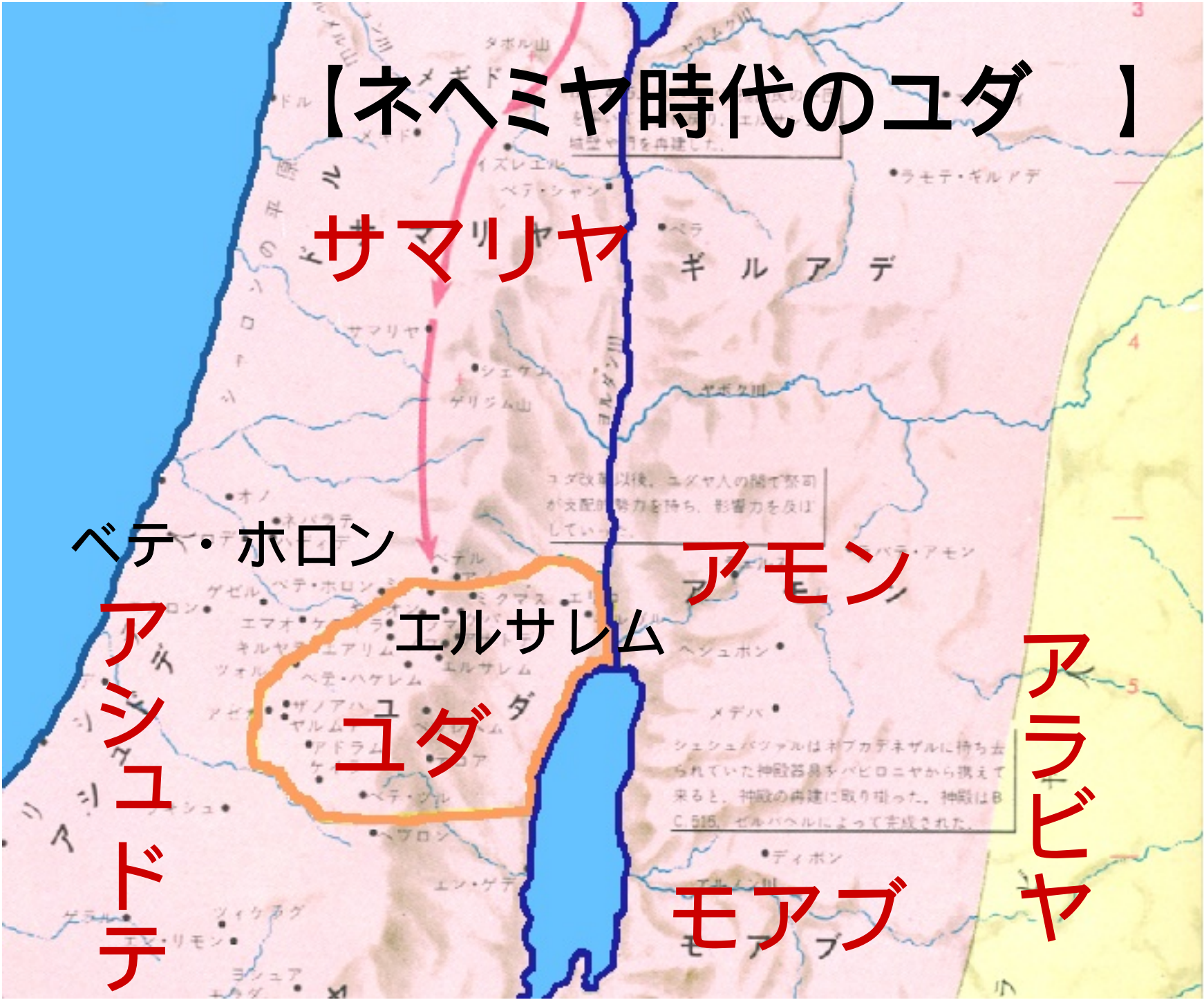
モアブ

ベテ・ホロン

アッシュドデ

エルサレム

ユダ





### 3 . 外国人との結婚の危険性

- ・ 信仰の危機：  
偶像崇拜に靡く危険
- ・ 真実さの危機：  
自分達の誓い（ 10 : 30 ）  
自分で破る
- ・ 政治的危機：  
指導者が反イスラエル勢力と  
提携！

## 4 . ネヘミヤの対応

( 2 5 - 2 8 節 )

- ・ 厳しい体罰：詰問、のろい、  
打撃、毛の引き抜き、  
誓いの強要・・・
- ・ 厳しい言葉：危険性を強調  
( 1 列王 1 1 : 1 - 6 )
- ・ 厳しい処置：大祭司の孫の追放

# 5 . ネヘミヤの最後の祈り ( 29 - 31 節 )

- ・ 悪をする者への審判を祈る
- ・ 主に従う者への恵を求める

おわりに：

「私を覚えて」と祈ろう

- ・ 現在の課題を担い給う主に
- ・ 生涯の評価を行い給う主に